

VISCOLAM



アクリル酸ポリマーの増粘剤

- イタリアLamberti社製造
- アクリルアミドフリー製法
- 使いやすさ、配合時の処理が簡単／コールドプロセス可能
- 処方の汎用性あり／製造工程のあらゆる段階で使用可能

1. 製品ラインナップ(乳化系処方におすすめ)

製品名	主な成分表示名称	主なINCI名	主な中文INCI
VISCOLAM AT 100P	ポリアクリロイルジメチルタウリンNa	Sodium Polyacryloyldimethyl Taurate	聚丙烯酰基二甲基牛磺酸钠
VISCOLAM AT 64/P	(アクリル酸Na/アクリロイルジメチルタウリンNa)コポリマー	Sodium Acrylate/Sodium Acryloyldimethyl Taurate Copolymer	丙烯酸钠/丙烯酰二甲基牛磺酸钠共聚物
VISCOLAM B25	(アクリレーツ/メタクリル酸ベヘネス-25)コポリマー	Acrylates/Beheneth-25 Methacrylate Copolymer	丙烯酸(酯)类/山嵛醇聚醚-25 甲基丙烯酸酯共聚物

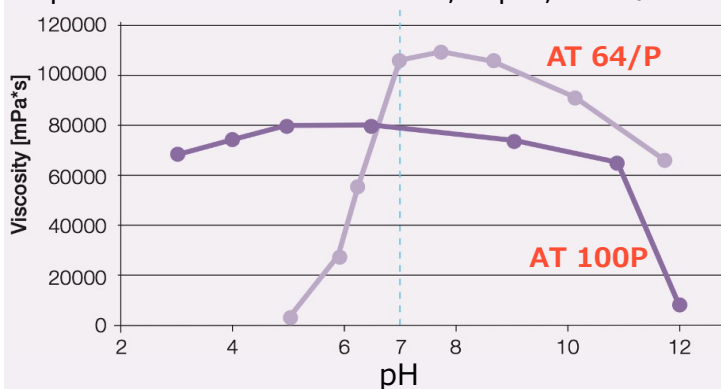
2. 製品ごとの特徴

VISCOLAM AT 100Pは、下記の特徴がある。

- 乳化処方を安定させることができる。
- 酸性pH等、広範囲なpH領域で粘度調整ができる。
- オイルが高配合でも粘度を安定できる。
- 化学溶媒の粘度も調整できる(エタノール、アセトン等)

※処方の特徴(東亜化成のガイド処方において) 粘度が高く、処方の質感が豊かであるにもかかわらず、みずみずしい感触を演出できる。(クイックブレイクエマルジョン)

■ pHごとの粘度データ(3%水溶液, 5rpm, 25°C)

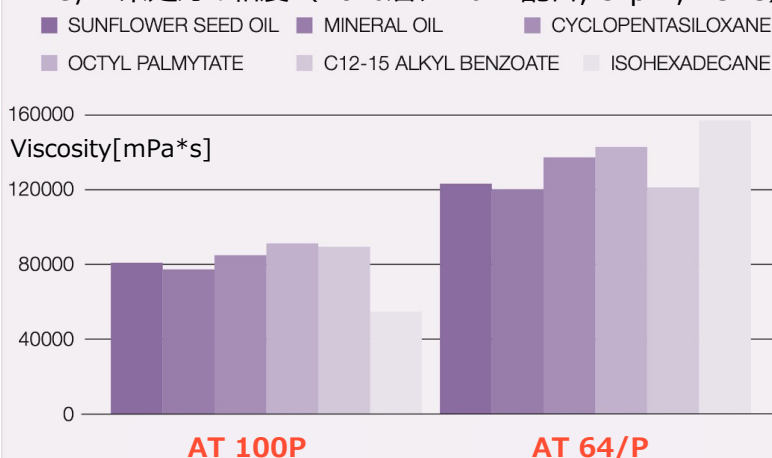


VISCOLAM AT 64/Pは、下記の特徴がある。

- 乳化処方を安定させることができる。
- 中性～塩基性の処方での粘度調整ができる。
- 低濃度でも安定した粘度調整ができる。
- EDTA-4Na等の塩に対して、良好な耐性あり。

※処方の特徴(東亜化成のガイド処方において) 粘度がより高く、処方の質感が豊かであるにもかかわらず、ベタつかない感触を演出できる。

■ O/W系処方の粘度(20%油、2%AT配合, 5rpm, 25°C)



VISCOLAM

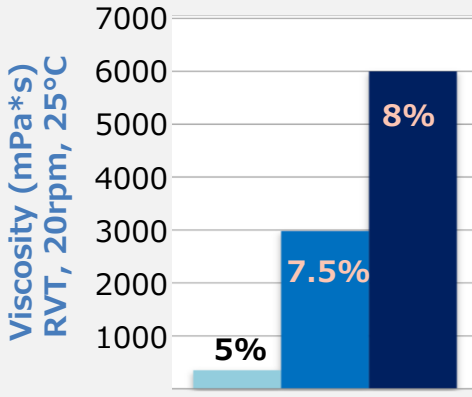
3. 製品ラインナップ(クレンジング系処方におすすめ)

製品名	主な成分表示名称	INCI名	中文INCI
VISCOLAM CK1	アクリレートコポリマー	Acrylates Copolymer	丙烯酸(酯)类共聚物
VISCOLAM CL5 C			
VISCOLAM GD19			

4. 製品ごとの機能(クレンジング系処方)



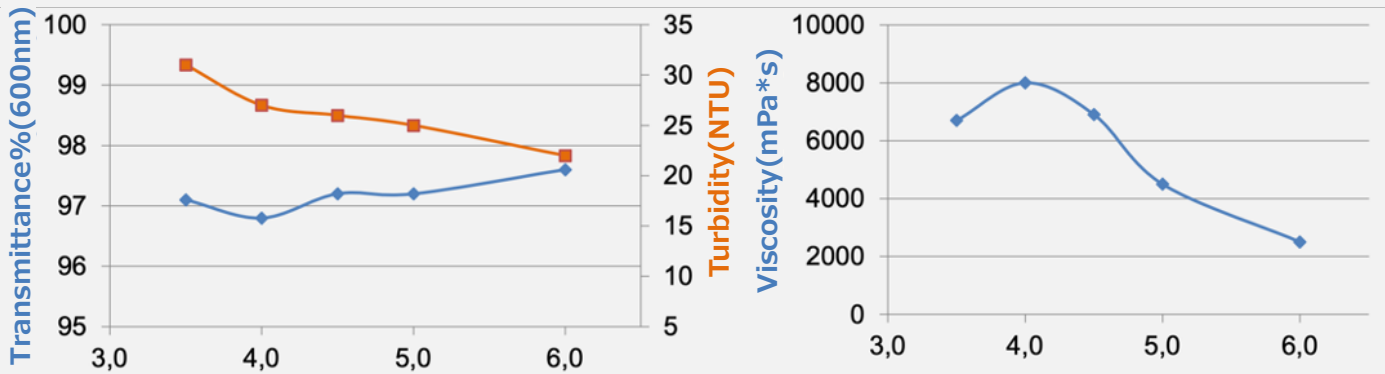
■ VISCOLAM CK1の粘度データ
(SLES 39%, CAPB 8%, 残り水)



VISCOLAM CK1は、下記の特徴がある。

- 透明処方の粘度調整剤。
- 高分子の膨潤工程のいない粘性の低い液体。
- pH6.5-6.8で粘度と透明性を実現。
- NaClなどの塩との組み合わせで、粘度UP。
- 界面活性剤の発泡に影響しない

■ VISCOLAM CL5 Cの透明度と粘度 (SLES 9%, CAPB 3%, VISCOLAM CL5 7.5%配合)



VISCOLAM CL5 Cは、下記の特徴がある。

- 透明処方の粘度調整剤。
- 高分子の膨潤工程のいない粘性の低い液体。
- pH3.5-6.0で粘度と透明性を実現。
- NaClなどの塩との組み合わせで、粘度UP。
- 様々な界面活性剤で粘度調整可能。



お問い合わせ先:

東亜化成株式会社 toa@toakasei.com

(本社) 大阪市中央区高麗橋3-4-10 TEL:06-6201-5131

(東京) 東京都中央区日本橋2-16-11 TEL:03-3243-0771